

2009 年度

大阪大学人間科学部卒業生及び

大学院人間科学研究科修了生の生活と意識に関する調査結果

2010年3月23日 実施

配布数 184 回収数 172 (回収率 93%)

(アンケート用紙は末尾に添付)

大阪大学人間科学部・大学院人間科学研究科 評価委員会

このアンケート調査は、本学部卒業生および本研究科修了生の在学中の生活と意識を明らかにするために行われた。アンケート用紙は平成 21 年度卒業式当日(2010 年 3 月 23 日)、人間科学部本館 51 教室で開催された学位授与式において式の出席者に配布され、室内で記入、退室時に回収された。

アンケートは学生自身のこと、所属していた学系のこと、大学教育や卒業後にに関する事項等、16 の質問項目から構成されている。

以下、アンケートの設問順に各問の集計結果を図表で示し、適宜コメントを加える。

問 1. 性別

表 1 回答者の性別

	人数	%
1. 男性	74	43.0
2. 女性	96	55.8
無記入	2	1.2
計	172	

問 2. 生年

表 2 回答者の生年 (西暦)

	人間科学部(人)	学部(%)	大学院人間科学研究科博士前期課程(人)	大学院人間科学研究科博士後期課程(人)	研究科 (%)
1942年			1		1.3
1948年				1	1.3
1954年				1	1.3
1962年			1		1.3
1965年			1		1.3
1966年				1	1.3
1971年				1	1.3
1972年			1		1.3
1973年				1	1.3
1975年			1	1	2.7
1976年				1	1.3
1977年			1	1	2.7
1978年				2	2.7
1979年			2		2.7
1981年				3	4.0
1982年				2	2.7
1983年	3	3.1	3	2	6.7
1984年	4	4.1	14		18.7
1985年	7	7.2	27		36.0
1986年	24	24.7	2		2.7
1987年	44	45.4			
1988年	15	15.5			
無記入			3	1	5.3
計	97	100.0	57	18	100.0

問 3. 卒業、修了の内訳

表 3 回答者の卒業・修了内訳

	人数	%
1. 人間科学部	97	56.4
2. 大学院人間科学研究科博士前期課程	57	33.1
3. 大学院人間科学研究科博士後期課程	18	10.5
計	172	

問 4. 資格の取得状況

表 4 資格取得の内訳

	人数	%
1. 持っていない	75	43.6
2. 持っている	90	52.3
無記入	7	4.1
計	172	

表 5 資格一覧表 (資格名は学生が記載したまま)

資格名	資格の詳細
教員免許 26名	教員免許 13名 中学校専修教員・高校専修教員 2名 中学校教員免許(社会) 1名 高校教員免許(公民) 2名 高校教員免許(公民・地歴) 1名 中学校教員免許(社会)・高校教員免許(公民) 2名 中学・高校教員免許(国語)・高校教員免許(公民) 1名 中学・高校教員免許(英語) 2名 幼稚園教員・小学校教員 1名 幼稚園教員・小学校教員・高校教員 1名
社会調査士 7名	
専門社会調査士 4名	
博物館学芸員 1名	
TOEIC 12名	
TOEFL 1名	
英語検定 7名	英語検定 2名 英語検定 準1級 2名 英語検定 準2級 1名 英語検定 2級 2名
中国語検定 3級 1名	
韓国語能力 1名	
語学検定資格 1名	
日本漢字技能検定 3名	日本漢字技能検定 1名 日本漢字技能検定 2級 2名
簿記検定 5名	簿記検定 2級 1名 簿記検定 3級 4名
ファイナンシャルプランナー 4名	ファイナンシャルプランナー2級 1名 ファイナンシャルプランナー3級 3名
秘書検定 2名	秘書検定準1級 1名 秘書検定2級 1名
証券外務員2種 2名	
社会保険労務士 1名	
宅地建物取引主任者 1名	
国家公務員Ⅱ種 1名	
基本情報技術者 1名	
保育士 1名	
看護師 2名	
保健師 1名	
社会福祉士Ⅰ 1名	
介護支援専門員 1名	
ホームヘルパー 2級 2名	
動作法トレーナー資格 1名	
管理栄養士 1名	
工学博士 1名	
普通自動車免許 36名	
大型自動二輪車免許 1名	
原動機付自転車免許 1名	
特殊小型船舶操縦免許 1名	
自家用操縦士(上級滑空機) 1名	
けん引 1名	
航空特殊無線技士 1名	
日本習字 1名	

表 4、5 は資格に関する結果である。取得した資格で重要と思うもの 3 つまでの記入を求めた。ほぼ半数(52.3%)の学生は何らかの資格を取得していた。資格内容は、教員免許が 26 名、語学検定 26 名(うち TOEIC 12 名)、社会調査士 7 名、専門社会調査士 4 名、博物館学芸員 1 名 などであった。

問 5. 奨学金の受給状況

表 6 奨学金の受給内訳

	人数	%
1. 受けていなかった	96	55.8
2. 受けていた	74	43.0
無記入	2	1.2
計	172	

問 6. 入学（編入学）年度

表 7 入学(編入学)年度（西暦）

	人間科学部(人)	学部(%)	大学院人間科学研究科博士前期課程(人)	大学院人間科学研究科博士後期課程(人)	研究科(%)
1998年				1	1.3
2001年				1	1.3
2003年	1	1.0			
2004年	2	2.1	5	3	10.7
2005年	10	10.3		4	5.3
2006年	77	79.4	1	1	2.7
2007年	2	2.1	8	7	20.0
2008年	5	5.2	42		56.0
無記入			1	1	2.7
計	97	100.0	57	18	100.0

問 7. 本学部／本研究科を選んだ理由（複数回答可）

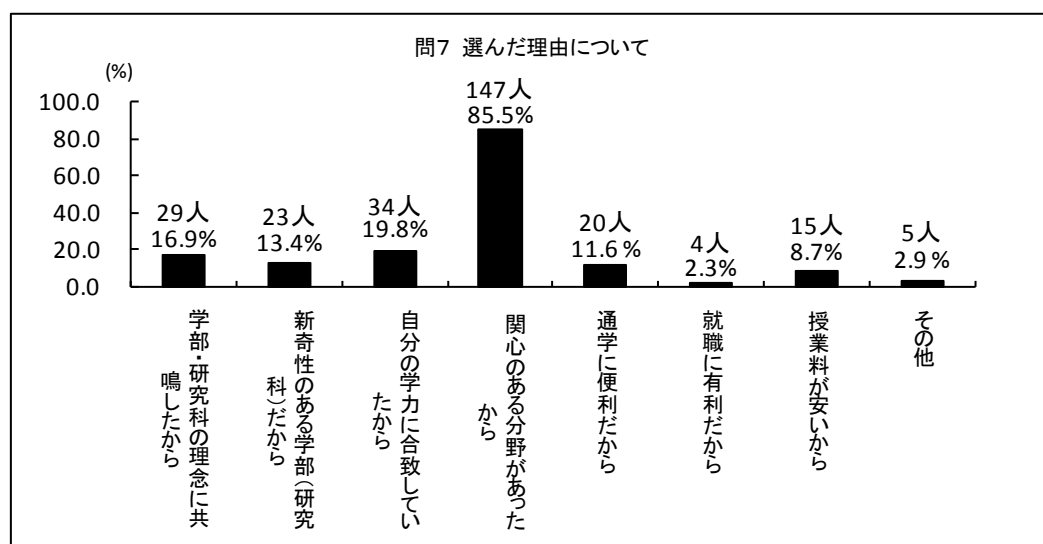


図 1 本学部／本研究科を選んだ理由

図 1 は入学した時に本学部／本研究科を選んだ理由を示したものである（複数回答可）。最も多かった回答が「関心のある分野があったから」147人(85.5%)、次いで「自分の学力に合致していたから」34人(19.8%)、「学部・研究科の理念に共鳴したから」29人(16.9%)の順であった。

問 8. 所属学科目／学系

問 8-a 所属していた学科目／各系

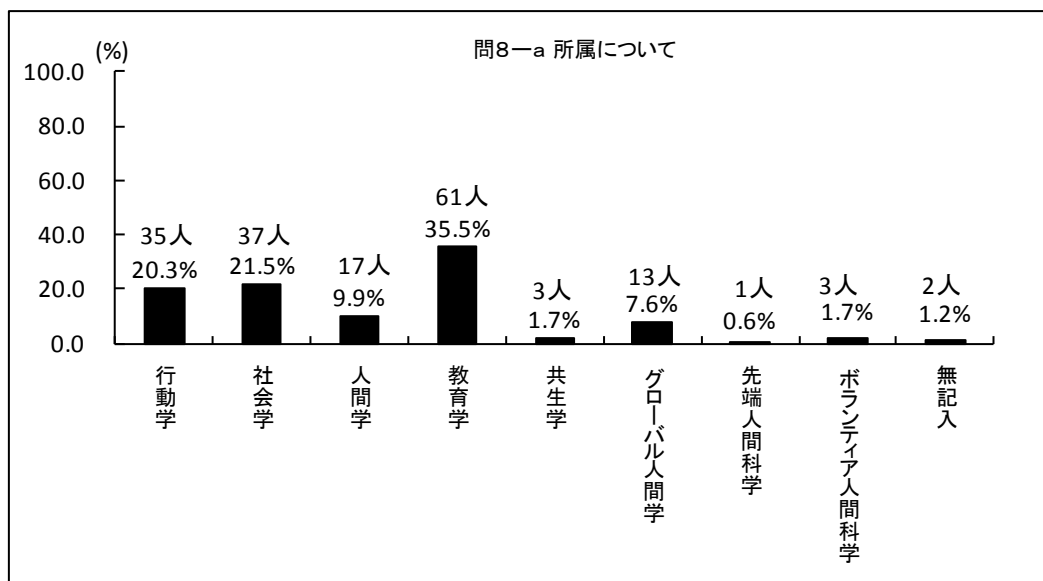


図 2 所属各科目／学系の内訳

図 2 は所属していた学科目／学系の内訳を示したものである。人数が多い順では教育学系が 61 人 (35.5%)、社会学系 37 人(21.5%)、行動学系 35 人(20.3%)であった。

問 8-b 学科目選択時の迷いについて (学部卒業生のみ)

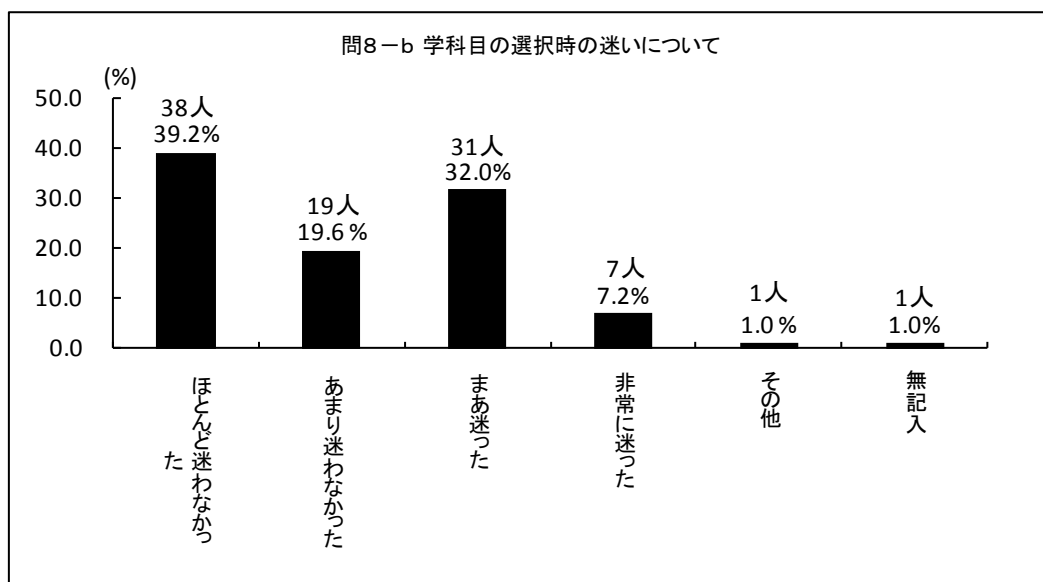


図 3 学科目選択時の迷い

図 3 は学科目の選択時に選択を迷った程度を示している (学部卒業生のみ回答)。「ほとんど迷わなかった」38 人(39.2%)が最も多く、続いて「まあ迷った」31 人(32.0%)、「あまり迷わなかった」19 人(19.6%)の順であった。

問 8-c 学科目の選択理由（学部卒業生のみ／複数回答可）

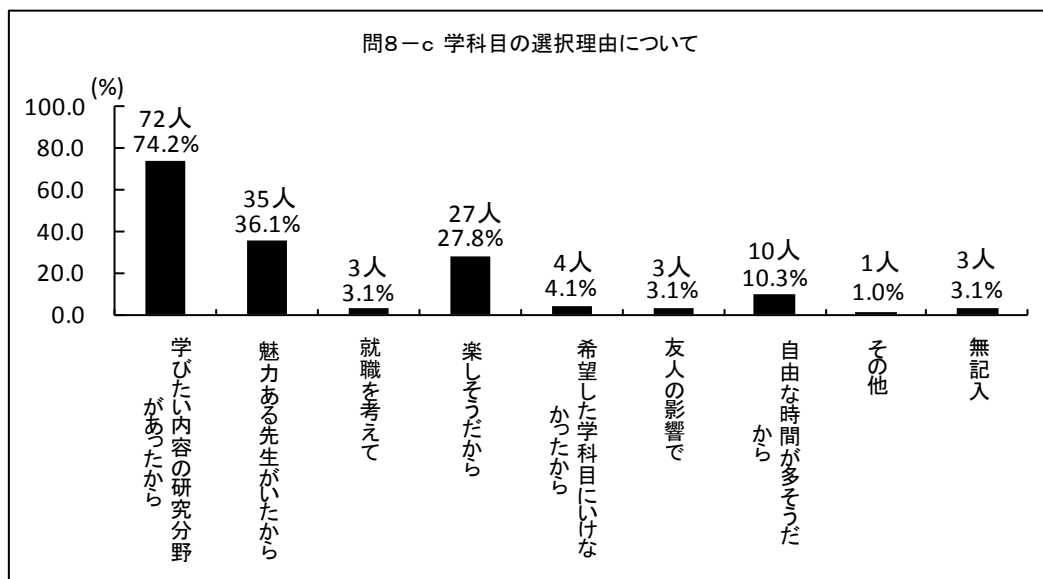


図 4 学科目の選択理由について

図 4 は学科目の選択理由を示したものである（学部卒業生のみ回答／複数回答可）。「学びたい内容の研究分野があったから」72人(74.2%)が最も多く、次いで「魅力ある先生がいたから」35人(36.1%)、「楽しそうだから」27人(27.8%)の順であった。

問 9. 卒業後の人生に役立つ事項について

問 9-a 学んだ内容

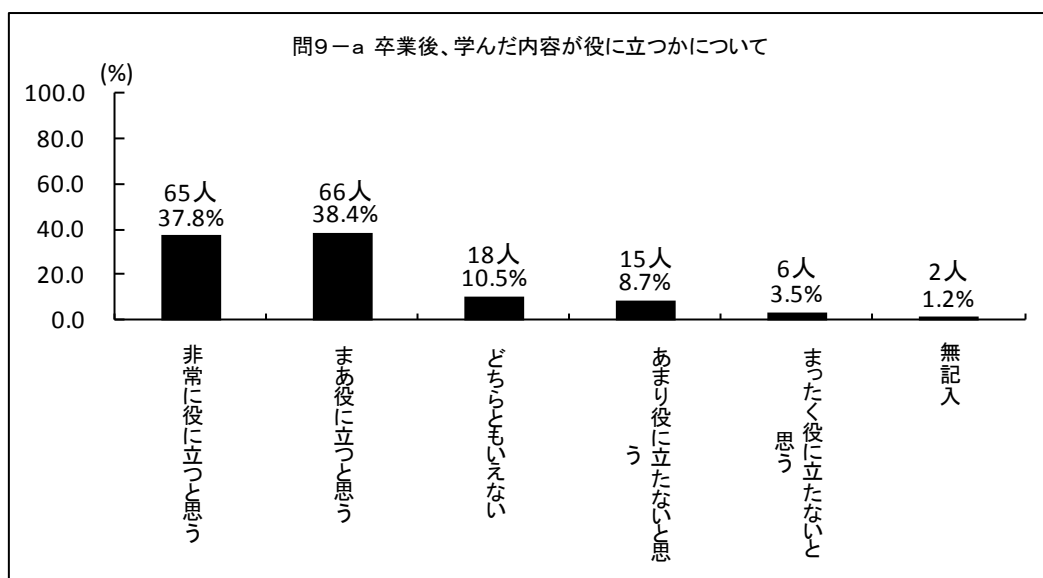


図 5 学んだ内容について

図 5 は、専攻した研究分野で学んだ内容が、卒業後の人生にどのくらい役立つかについて質問した結果である。「まあ役に立つと思う」66人(38.4%)、「非常に役に立つと思う」65人(37.8%)と7割以上の学生が役に立つと思うと回答している。続いて「どちらともいえない」18人(10.5%)、「あまり役に立たないと思う」15人(8.7%)の順であった。

問 9-b 「大阪大学」卒業／修了という肩書き

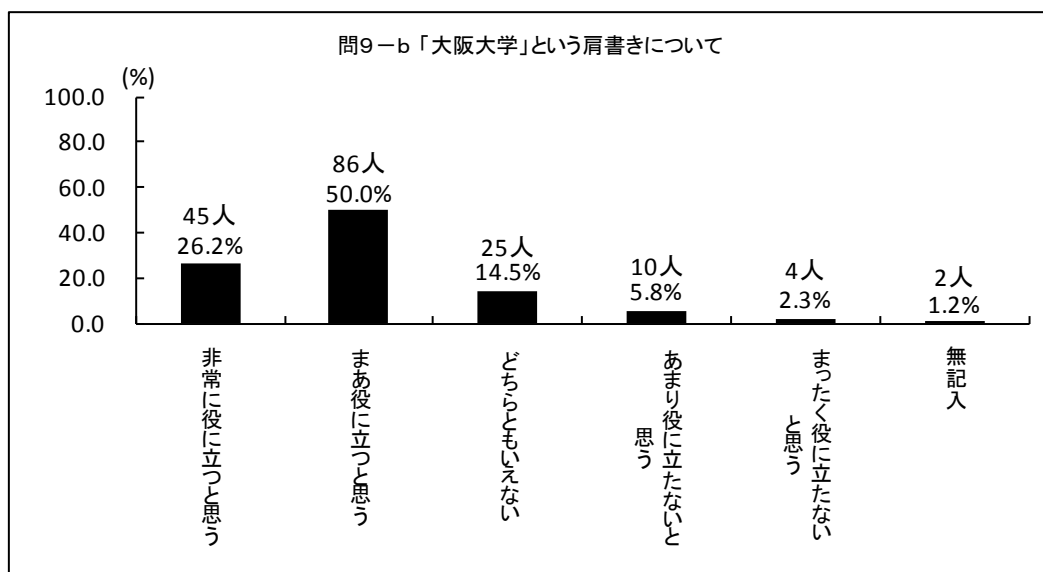


図 6 「大阪大学」の肩書きについて

問 9-c 「人間科学部」卒業／「人間科学研究科」修了という肩書き

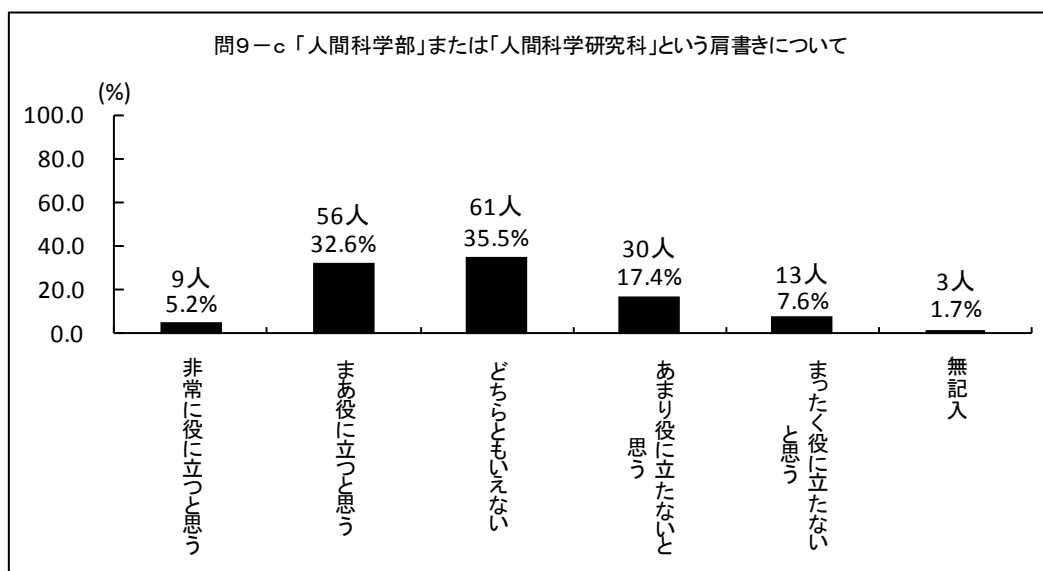


図 7 「人間科学部」卒業または「人間科学研究科」修了の肩書きについて

図 6、7 は肩書きについての質問結果である。「大阪大学」卒業／修了という肩書きでは「まあ役に立つと思う」86人(50.0%)が最も多く、次いで「非常に役に立つと思う」45人(26.2%)、「どちらともいえない」25人(14.5%)の順であった(図 6 参照)。

「人間科学部」卒業／「人間科学研究科」修了という肩書きでは、「どちらともいえない」61人(35.5%)が最も多く、次いで「まあ役に立つと思う」56人(32.6%)、「あまり役に立たないと思う」30人(17.4%)の順であった(図 7 参照)。

「人間科学部」卒業／「人間科学研究科」修了という肩書きよりも、「大阪大学」卒業／修了という肩書きの方が役に立つと感じている学生が多かった。

問 10. 学生（院生）生活で力を注いだ活動事項について

（「非常に力を注いだ」から「力を注がなかった」までを5段階で評定）

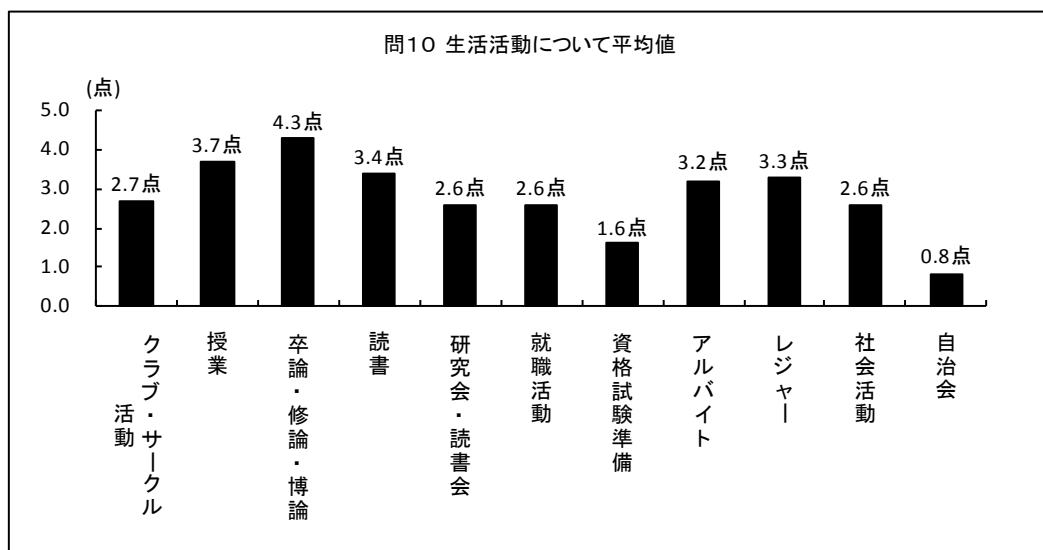


図 8 学生（院生）時代に力を注いだ活動事項

図 8 は学生／院生生活における 11 の活動事項に関して、それぞれの程度力を注いだかについて評定を求めた結果の平均値である。「非常に力を注いだ」を 5 点、「まあ力を注いだ」を 4 点、「どちらともいえない」を 3 点、「あまり力を注がなかった」を 2 点、「力を注がなかった」を 1 点とした。平均値が高いほどその活動に対し力を注いだと評定されたことを意味している。

最も値が高かった事項は、「卒論・修論・博論」の 4.3 点、次いで「授業」3.7 点、「読書」3.4 点、「レジャー」3.3 点、「アルバイト」3.2 点、「クラブ・サークル活動」2.7 点、「研究会・読書会」「就職活動」「社会活動」2.6 点であった。

問 11. 誇りに思う学歴について

問 11-a 大阪大学を卒業／修了したこと

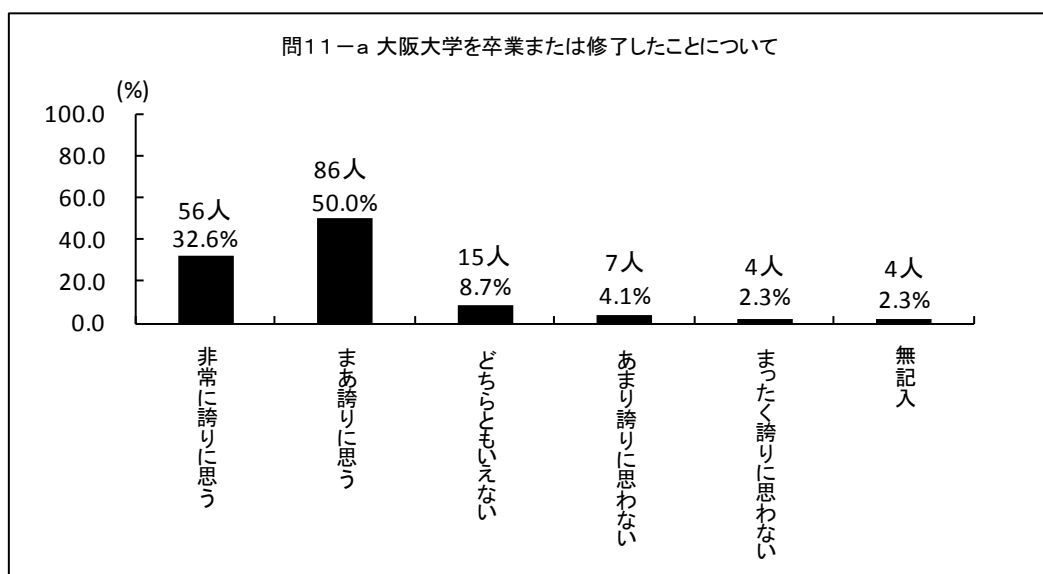


図 9 大阪大学を卒業／修了したこと

問 11-b 本学部／本研究科を卒業／修了したこと

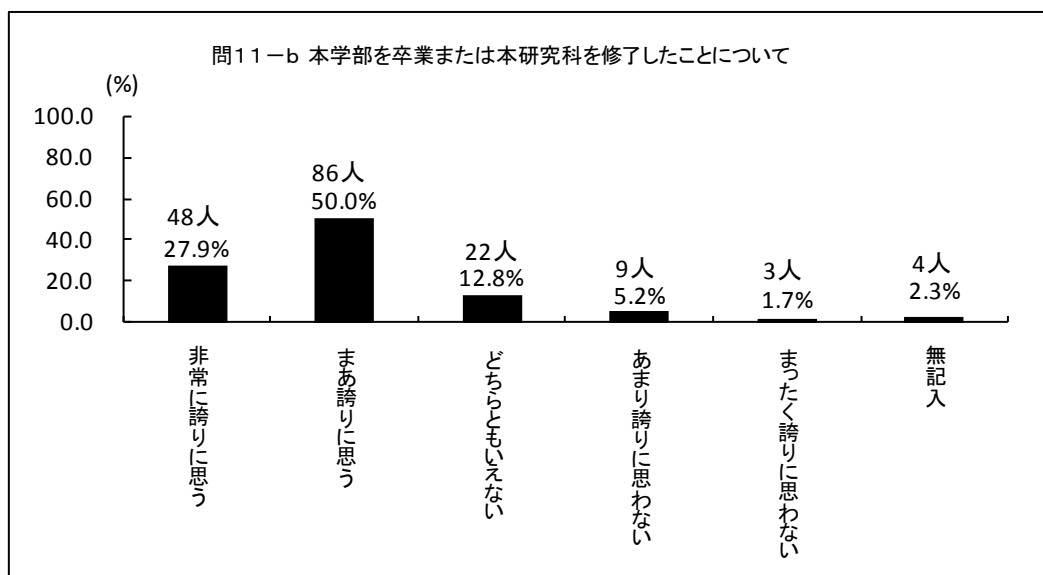


図 10 本学部を卒業／本研究科を修了したこと

図 9、10 は「大阪大学」および「本学部／本研究科を卒業／修了した」ことについてどの程度誇りに思っているかを質問した結果である。

「大阪大学を卒業／修了したこと」では、「まあ誇りに思う」86人(50.0%)が最も多く、次いで「非常に誇りに思う」56人(32.6%)、「どちらともいえない」15人(8.7%)であった(図 9 参照)。

「人間科学部／人間科学研究科を卒業／修了したこと」では、「まあ誇りに思う」86人(50.0%)が最も多く、次いで「非常に誇りに思う」48人(27.9%)、「どちらともいえない」22人(12.8%)であった(図 10 参照)。「誇り」に関しては「大阪大学」と「人間科学部／人間科学研究科」で類似した回答傾向が得られた。

問 11-c 専攻した研究分野

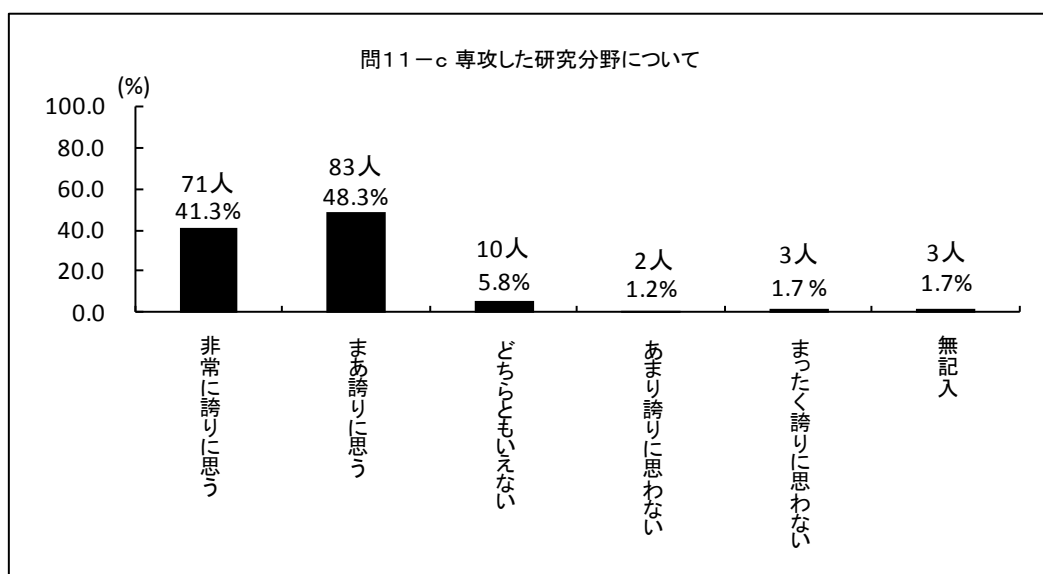


図 11 専攻した研究分野

図 11 は「専攻した研究分野」をどの程度誇りに思っているかを示したものである。「大阪大学、人間科学部／人間科学研究科」の結果（図 9、10）と比較して「非常に誇りに思う」の比率(41.3%)が高いことが特徴的である。

問 12. 最も愛着のある学歴

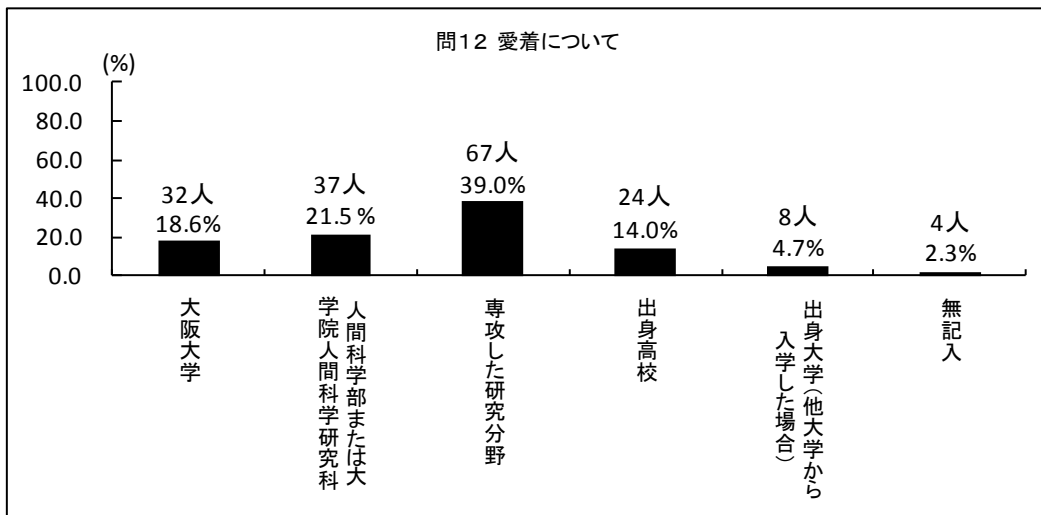


図 12 最も愛着のある学歴

図 12 は提示された 5 項目のうち最も愛着のある学歴について質問した結果である。「専攻した研究分野」67 人(39.0%)が最も多く、次いで「人間科学部／人間科学研究科」37 人(21.5%)、「大阪大学」32 人(18.6%)、「出身高校」24 人(14.0%)の順であった。

問 13. 授業評価について

問 13-a 全学共通教育機構（豊中キャンパス）の授業評価

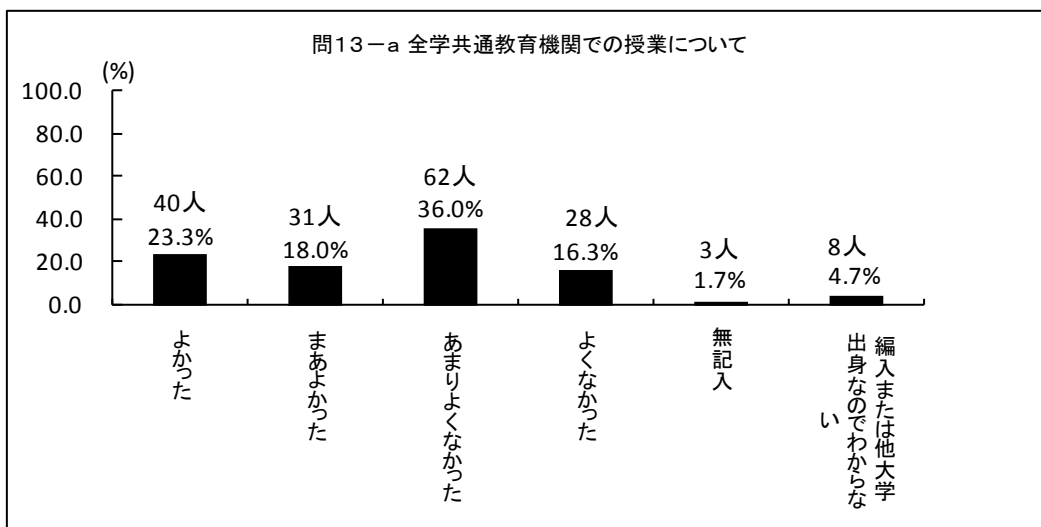


図 13 全学共通教育機構の授業評価

図 13 は全学共通教育機構（豊中キャンパス）の授業についての評価結果である。「あまりよくなかった」62人(36.0%)が最も多く、次いで「よかった」40人(23.3%)、「まあよかった」31人(18.0%)の順であった。

問 13-b 専門課程（吹田キャンパス）の授業評価

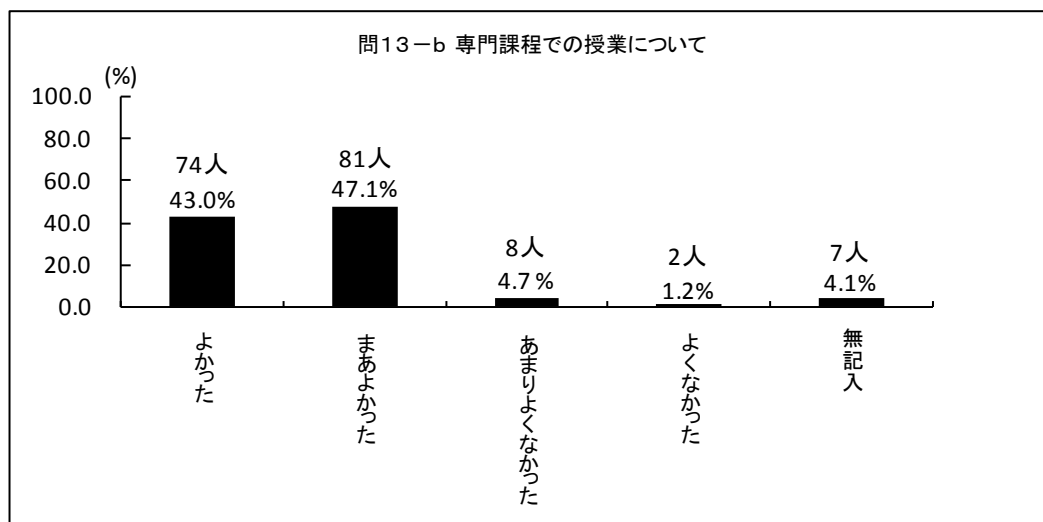


図 14 専門課程の授業評価

図 14 は専門課程（吹田キャンパス）での授業評価結果である。「まあよかった」81人(47.1%)が最も多く、次いで「よかった」74人(43.0%)の順であった。

問 13-c 数学の必修について

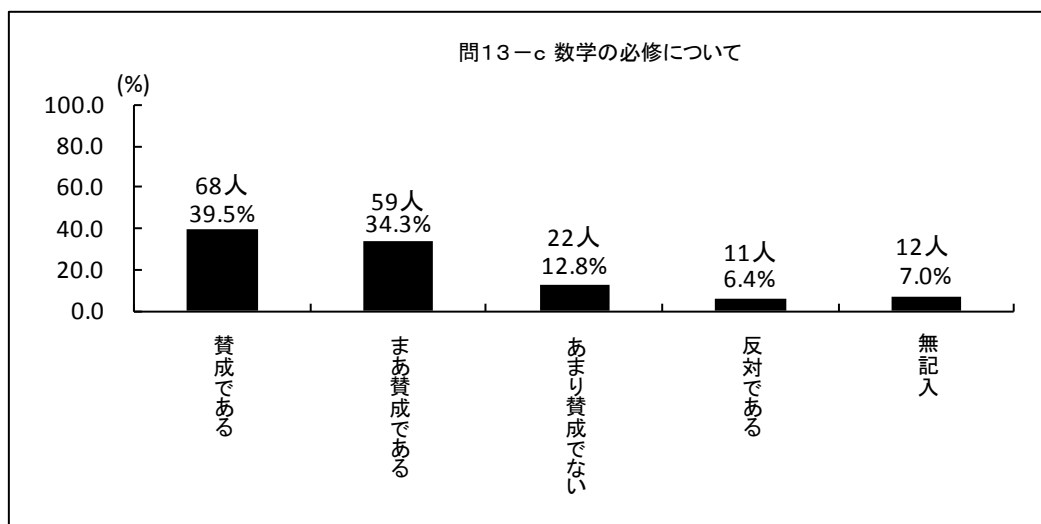


図 15 数学の必修について

図 15 は人間科学部で数学が必修であることについての意見を聞いたものである。「賛成である」68人(39.5%)が最も多く、次いで「まあ賛成である」59人(34.3%)、「あまり賛成でない」22人(12.8%)であった。

問 13-d 統計学の必修について

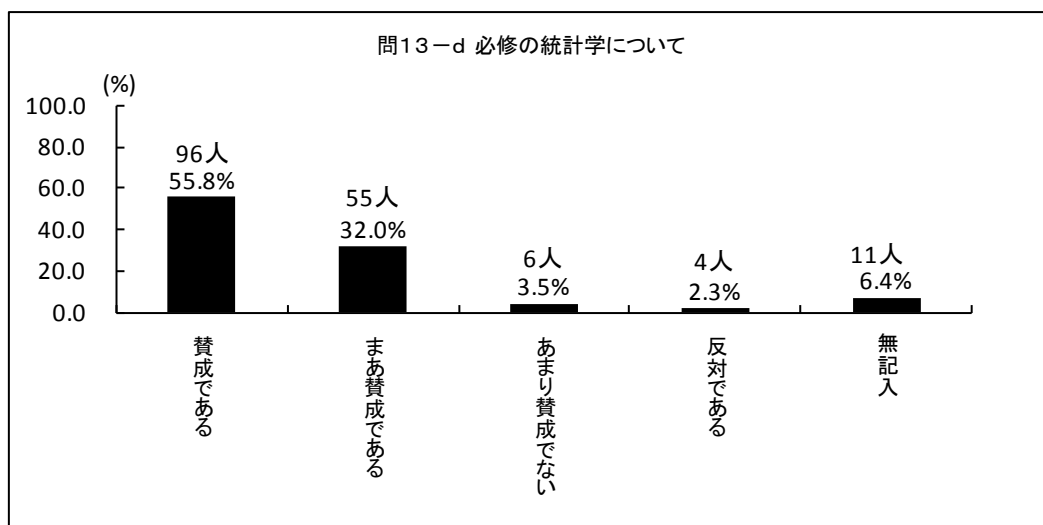


図 16 必修の統計学について

図 16 は同じく統計学が必修であることについての意見を聞いたものである。「賛成である」96人(55.8%)が最も多く、次いで「まあ賛成である」55人(32.0%)、「あまり賛成でない」6人(3.5%)の順であった。図 15、16 より、数学、統計学の必修については「まあ賛成である」を含めると、数学は約 7 割(73.8%)、統計学は 9 割近く(87.8%)の学生が賛成しているといえる。

問 13-e 今後増やすべき授業形態

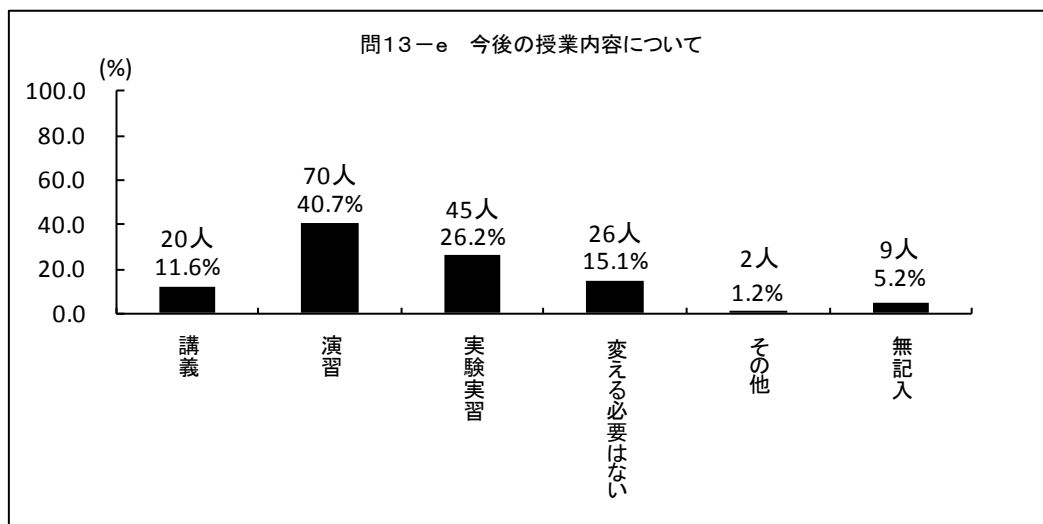


図 17 今後増やすべき授業について

図 17 は今後、授業の中身を変えるとすれば、最も増やすべきと思う授業形態について質問した結果である。「演習」70人(40.7%)が最も多く、次いで「実験実習」45人(26.2%)、「変える必要はない」26人(15.1%)の順であった。

問 14. 今後の育成で重視すべき知識や能力について

(「非常に重要」から「あまり重要でない」までを3段階で評定)

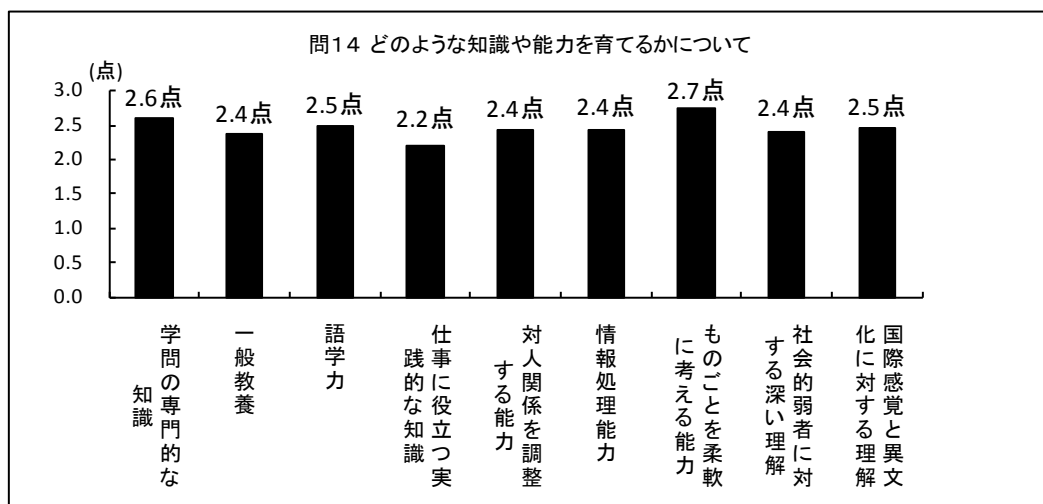


図 18 どのような知識や能力を育てるかについての平均値

図 18 は今後の育成で重視すべき9つの知識や能力事項に関して、それぞれどの程度重要に思うかについて評定を求めた結果の平均値である。「非常に重要」を3点、「やや重要」を2点、「あまり重要でない」を1点とした。平均値が高いほど重要と評定されたことを意味している。

「ものごとを柔軟に考える能力」2.7点、「学問の専門的な知識」2.6点、「語学力」および「国際感覚と異文化に対する理解」2.5点であった。ただし各事項の数値は2.2～2.7点の範囲に分布しており、全体的にどの知識や能力の事項についても重要であると評定されていた。

問 15. 就職先の満足度について

問 15-a 業種・業界に関して

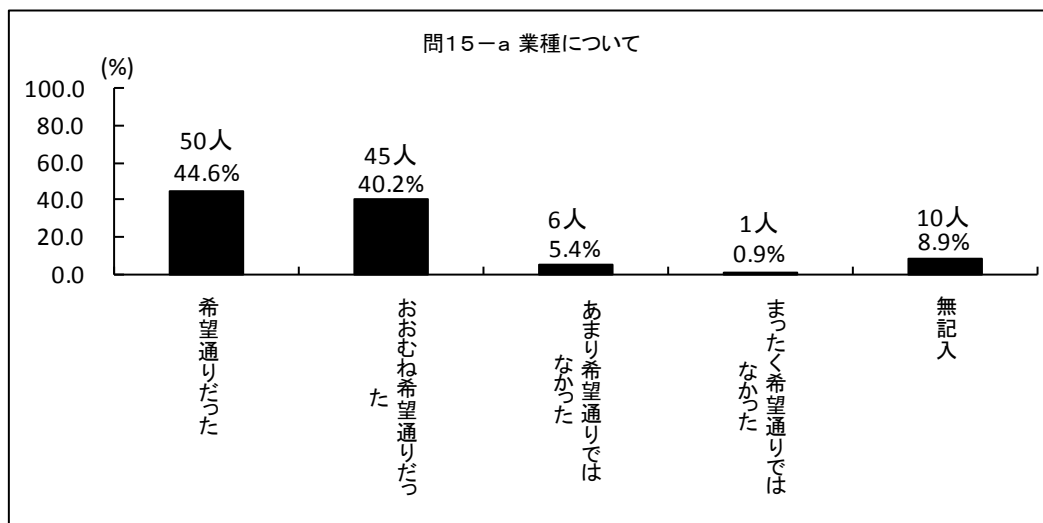


図 19 就職先の満足度 (業種・業界)

図 19 は就職先の業種・業界の満足度について質問した結果を示している（就職者のみ回答）。「希望通りだった」50人(44.6%)が最も多く、次いで「おおむね希望通りだった」45人(40.2%)であり、約8割が希望通りの業種・業界に就職したと回答した。

問 15-b 具体的な企業・官公庁等に関して

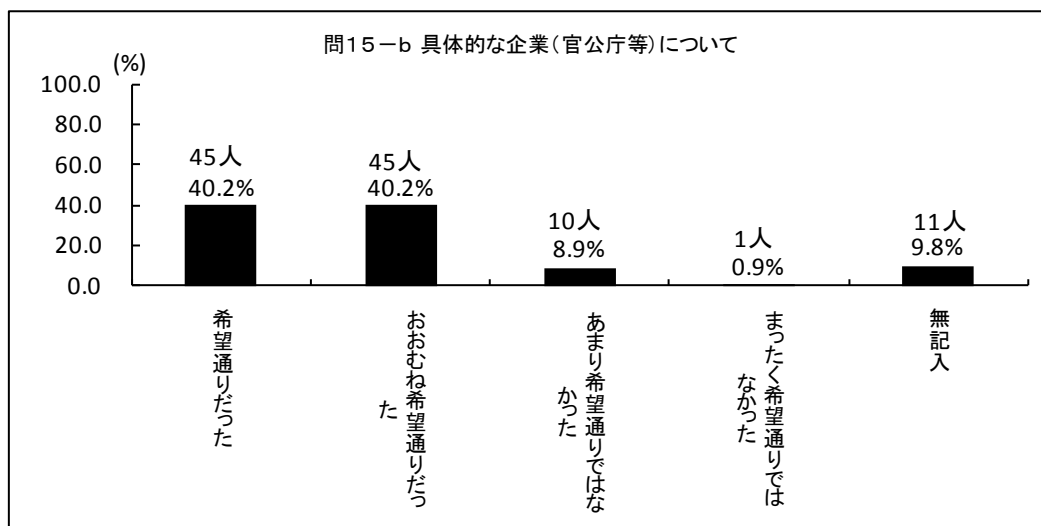


図 20 就職先の満足度（具体的な企業・官公庁等）

図 20 は就職先の具体的な企業・官公庁等の満足度について質問した結果を示している（就職者のみ回答）。「希望通りだった」45人(40.2%)、「おおむね希望通りだった」45人(40.2%)と約8割の学生が希望通りの企業・官公庁に就職したと回答した。

問 16. 本学部／本研究科の総合的な満足度について

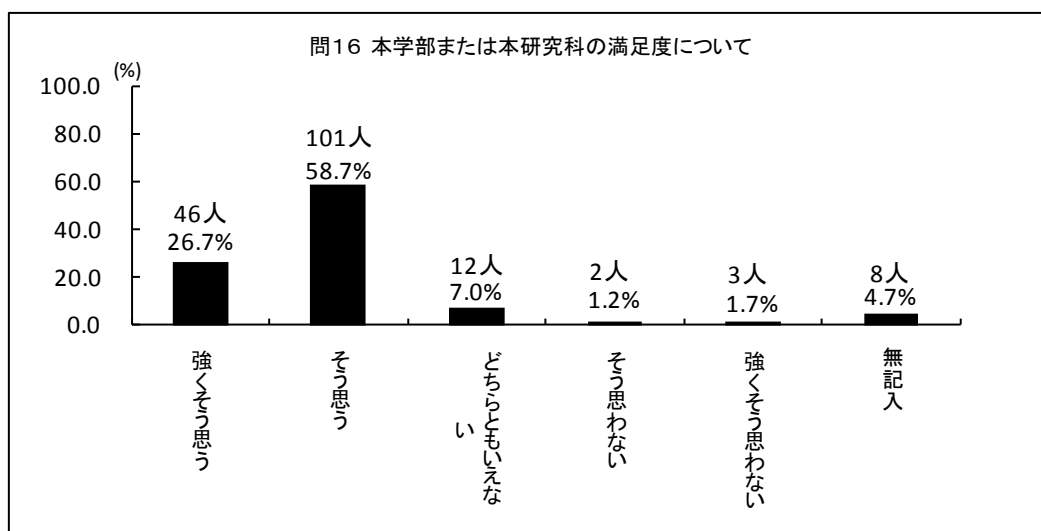


図 21 本学部／本研究科の満足度

図 21 は本学部／本研究科の総合的な満足度について質問した結果である。「そう思う」101人(58.7%)が最も多く、次いで「強くそう思う」46人(26.7%)であった。すなわち8割以上(85.4%)の学生／院生が本学部／本研究科に対して満足しているといえる。

※学系別満足度（人間科学部）

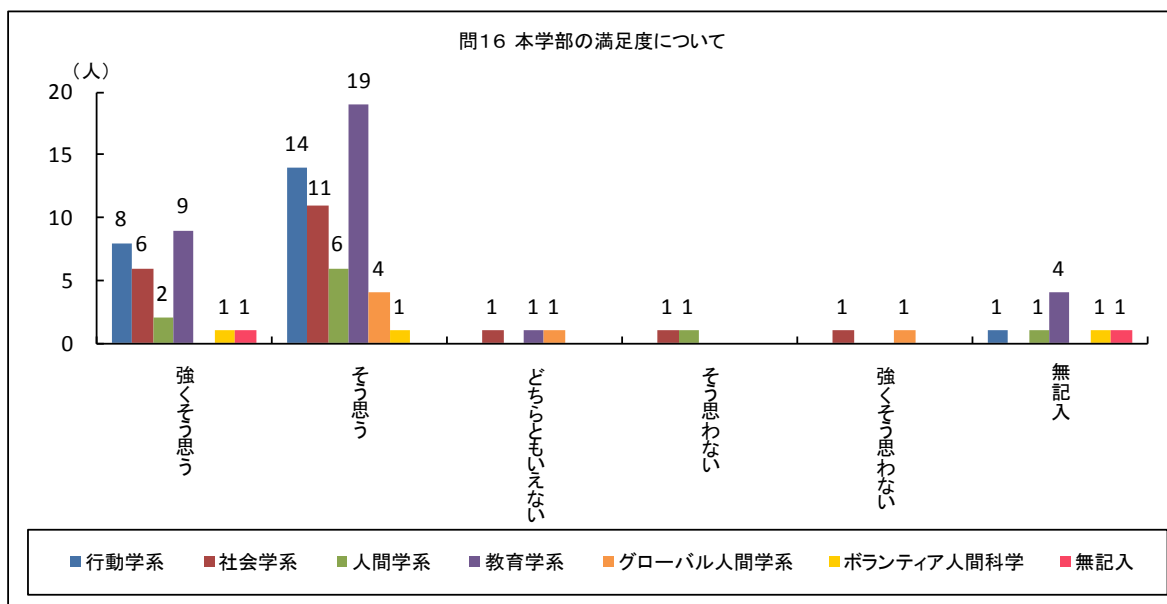


図 22 学系別満足度（人間科学部）

※学系別満足度（人間科学研究科）

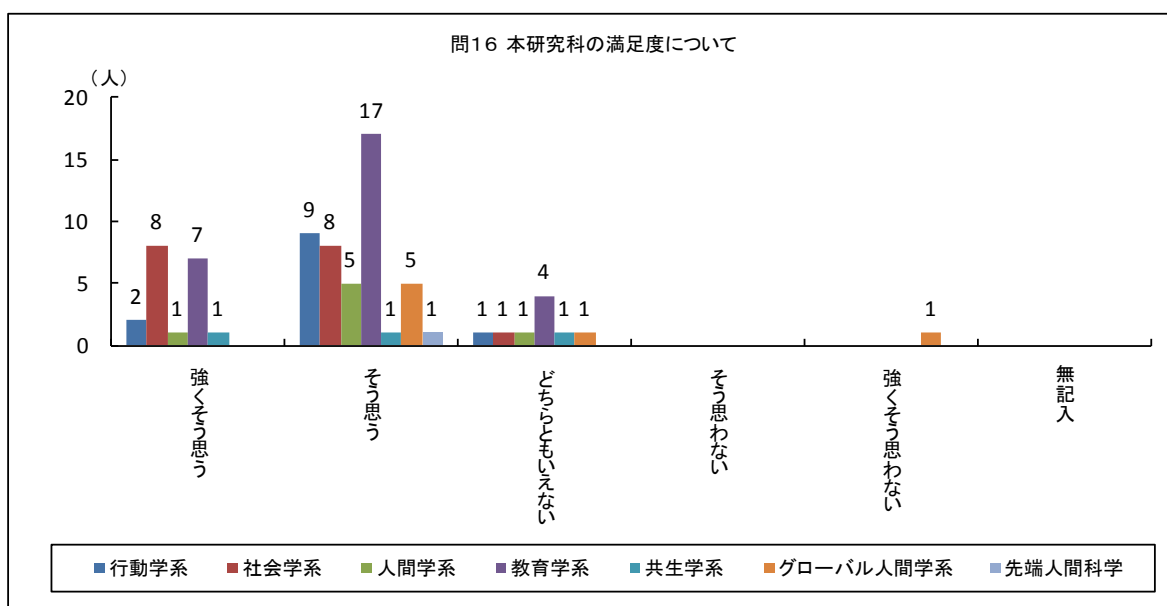


図 23 学系別満足度（人間科学研究科）

図 22、23 は問 16 の本学部／本研究科に対する総合的満足度の結果をそれぞれ学系別に集計した結果である。

図 22 より、学部生では行動学系学生 23 人中 8 人が「強くそう思う」、14 人が「そう思う」、社会学系及び人間学系学生 30 人中 8 人が「強くそう思う」、17 人が「そう思う」、教育学系学生 33 人中 9 人が「強くそう思う」、19 人が「そう思う」と回答した。人間科学部全体では、97 人中 82 人(84.5%)が「強くそう思う」または「そう思う」と回答した。

図 23 より、人間科学研究科全体(75 人)では、19 人が「強くそう思う」(25.3%)、46 人が「そう思う」(61.3%)と回答した。すなわち 86.6%の院生が満足しているといえる。

アンケート最後に設けた自由記述欄に記入された内容を以下に記す（19名記入）

- ・2年間本当にお世話になり、どうもありがとうございます。ここで学ばせていただきました事を、現在の仕事の中で活かしてゆきたいと思います。貴重な2年間でした。社会人学生への支援も引き続きよろしくお願い致します。
- ・人科で「文化」の豊かな世界観に触れ、世界の見方を大きく広げることができました。ありがとうございました。
- ・もう少しフォローが欲しかった。学科目を選ぶ際、希望の学科目に行けなかった時等。楽しかったです。
- ・このような類のアンケートをやって何をするつもりなのか、いま一つ理解出来ない。それは回答者にあえて説明する事ではないのかも知れないが、質問内容をみると、大阪大学出身者として、大学にどれほど誇りを感じているのかを探ろうとしているように思われるが、そのようなものは旧帝大のおごりに満ちた非常に不愉快な態度ではないかと感じずにはいられない。
- ・このアンケートの主旨は何なのでしょう？正当な目的がないアンケートをとっても意味がない様に思うのですが、こういうことはやめて欲しいです。
- ・アンケート結果などは、卒業生に対してどのようにフィードバックされるか？と考えた時に、アンケート設計から分析などの過程、これらをともにした学部環境改善に参加したいと望む学生は多いはず。学生をサービス受給者ではなく、パートナーとして捉えた学部運営を期待しています。
- ・とても楽しい4年間でした。どちらかというとも部活内での人間関係を重視していたので、2・3年生の時は少しだけ人科の友人と疎遠になりましたが、今年度は院試に向けての勉強会等で互いに励まし合い、絆の強さを再確認しました。あと2年間、修士課程ではお世話になります。本当にありがとうございました。
- ・文理融合とは名ばかり
- ・ゼミの温度差が激しい
- ・人間科学部教育学科が大阪大学全体の教育改善をリードしてくれる事を望みます。
- ・人科パンフは痛々しいと思います。研究室配属が早いところは良いところだと思います。
- ・人科は楽しかったです。本気で。合宿は絶対なくさないで下さい。人科パンフも。
- ・豊中キャンパスへの連絡バスで人科出発のものを作って欲しいです。
- ・授業はより良くなって欲しいと思いますが、具体的な考えは思い浮かびませんでした。
- ・長い間お世話になりました
- ・ありがとうございました(2人)
- ・お世話になりました。教務の方がとても優しくかったです。
- ・人科大好き

2009 年度大阪大学大学院人間科学研究科修了生 及び人間科学部卒業生の生活と意識に関する調査

【ご記入にあたって】

- (1) 人間科学部を卒業される方は本学部での学生生活と意識についてご回答ください。
大学院人間科学研究科を修了される方は本研究科での院生生活と意識についてご回答ください。
- (2) それぞれの質問について、選択肢のなかから当てはまる番号に○印をつけてお答えください（原則として○はひとつです）。
- 【例】 問 1 あなたの性別はどちらですか。

1. 男性

②. 女性
- (3) 選択肢ではなく、空欄に記入していただく質問もあります。□のなかに具体的な数字をご記入ください。

回答したアンケートは退出時に出口で提出してください。

最初にあなた自身についてお教えてください。

問1 あなたの性別はどちらですか。

1. 男性
2. 女性

問2 あなたのお生まれはいつですか。

西暦

1	9		
---	---	--	--

 年

--	--

 月

問3 あなたが卒業または修了したのはつぎのどれですか。

1. 人間科学部
2. 大学院人間科学研究科博士前期課程
3. 大学院人間科学研究科博士後期課程

問4 あなたは何か資格をお持ちですか。お持ちの場合、重要だと思うものを3つまで、お答えください。

1. 持っていない
2. 持っている
具体的に ()
()
()

問5 あなたは在学中に奨学金を受給していましたか。

1. 受けていなかった
2. 受けていた

つぎに、あなたの学生生活または院生生活についてお教えてください。

問6 あなたが本学部または本研究科に入学（あるいは編入学）されたのはいつですか。

西暦

--	--	--	--

 年

4

 月

問7 入学のときに本学部または本研究科を選んだ理由はどれですか（○はいくつでも）。

1. 学部・研究科の理念に共鳴したから
2. 新奇性のある学部（研究科）だから
3. 自分の学力に合致していたから
4. 関心のある分野があったから
5. 通学に便利だから
6. 就職に有利だから
7. 授業料が安いから
8. その他（具体的に： ）

問8 あなたが所属していた学科目または学系についてお教えてください。

a あなたが所属していた学科目または学系はつぎのどちらでしたか。

1. 行動学
2. 社会学
3. 人間学
4. 教育学
5. 共生学
6. グローバル人間学
7. 先端人間科学

→学部卒業の方は次のbへお進みください。
大学院修了の方は問9へお進みください。

b (学部卒業生のみご回答ください)
あなたは学科目を決めるのに迷いましたか。

1. ほとんど迷わなかった
2. あまり迷わなかった
3. まあ迷った
4. 非常に迷った
5. その他 (具体的に:)

c (学部卒業生のみご回答ください)
学科目の選択にあたって考慮した条件は、つぎのどれでしたか (〇はいくつでも)。

1. 学びたい内容の研究分野があったから
2. 魅力のある先生がいたから
3. 就職を考えて
4. 楽しそうだから
5. 希望した学科目にいけなかったから
6. 友人の影響で
7. 自由な時間が多そうだから
8. その他 (具体的に:)

問9 つぎのことは、卒業後の人生でどのくらい役に立つと思いますか。

a 専攻した研究分野で学んだ内容。

1. 非常に役に立つと思う
2. まあ役に立つと思う
3. どちらともいえない
4. あまり役に立たないと思う
5. まったく役に立たないと思う

b 「大阪大学」卒業または修了という肩書き。

1. 非常に役に立つと思う
2. まあ役に立つと思う
3. どちらともいえない
4. あまり役に立たないと思う
5. まったく役に立たないと思う

c 特に「人間科学部」卒業または「人間科学研究科」修了という肩書き。

1. 非常に役に立つと思う
2. まあ役に立つと思う
3. どちらともいえない
4. あまり役に立たないと思う
5. まったく役に立たないと思う

問10 学生生活または院生生活の中で、あなたはつぎの活動について、それぞれどの程度力を注いでいましたか。

	非常に力を注いだ	まあ力を注いだ	どちらともいえない	あまり力が注がなかった	力を注がなかった	該当しない
a. クラブ・サークル活動	1	2	3	4	5	6
b. 授業	1	2	3	4	5	6
c. 卒論・修論・博論	1	2	3	4	5	6
d. 読書	1	2	3	4	5	6
e. 研究会・読書会	1	2	3	4	5	6
f. 就職活動	1	2	3	4	5	6
g. 資格試験準備	1	2	3	4	5	6
h. アルバイト	1	2	3	4	5	6
i. レジャー	1	2	3	4	5	6
j. 社会活動	1	2	3	4	5	6
k. 自治会	1	2	3	4	5	6

問 11 あなたは、つぎのことをどのくらい誇りに思っていますか。

a 大阪大学を卒業または修了したこと。

1. 非常に誇りに思う
2. まあ誇りに思う
3. どちらともいえない
4. あまり誇りに思わない
5. まったく誇りに思わない

b 人間科学部を卒業または修了したこと。

1. 非常に誇りに思う
2. まあ誇りに思う
3. どちらともいえない
4. あまり誇りに思わない
5. まったく誇りに思わない

c 専攻した研究分野で学んだこと。

1. 非常に誇りに思う
2. まあ誇りに思う
3. どちらともいえない
4. あまり誇りに思わない
5. まったく誇りに思わない

問 12 つぎの中で、あなたにとってもっとも愛着があるのは、どれですか。1 つだけお選びください。

1. 大阪大学
2. 人間科学部または大学院人間科学研究科
3. 専攻した研究分野
4. 出身高校
5. 出身大学（他大学から入学した場合）

大学教育について意見をお聞かせください。

問 13 あなたが大学で受けた授業について、総合的な評価をお聞かせください。

a 全学共通教育機構（豊中キャンパス）での授業はいかがでしたか。

0. 編入または他大学出身なのでわからない
1. よかった
2. まあよかった
3. あまりよくなかった
4. よくなかった

b 専門課程（吹田キャンパス）での授業はいかがでしたか。

1. よかった
2. まあよかった
3. あまりよくなかった
4. よくなかった

c 人間科学部では数学が必修ですが、あなたはこれに賛成ですか。

1. 賛成である
2. まあ賛成である
3. あまり賛成でない
4. 反対である

d 同じく必修の統計学については、どう思われますか。

1. 賛成である
2. まあ賛成である
3. あまり賛成でない
4. 反対である

e 今後、授業の中身を変えるとすれば、**もっとも増やすべきだ**と思う形態はつぎのうちどれですか。

1. 講義
2. 演習
3. 実験実習
4. 変える必要はない
5. その他（具体的に： _____）

問 14 人間科学部では、今後どのような知識や能力を育てることが重要だと思われますか。

	非常に重要	やや重要	あまり重要ではない
a. 学問の専門的な知識	1	2	3
b. 一般教養	1	2	3
c. 語学力	1	2	3
d. 仕事に役立つ実践的な知識	1	2	3
e. 対人関係を調整する能力	1	2	3
f. 情報処理能力	1	2	3
g. ものごとを柔軟に考える能力	1	2	3
h. 社会的弱者に対する深い理解	1	2	3
i. 国際感覚と異文化に対する理解	1	2	3

→卒業後または修了後、就職される方は問 15 へお進みください。

それ以外の方は問 16 へお進みください。

つぎに就職先についてうかがいます。

問 15 あなたは希望通りのお仕事に就くことができましたか。

a 業種（勤め先の業界）についてはいかがでしたか。

1. 希望通りだった
2. おおむね希望通りだった
3. あまり希望通りではなかった
4. まったく希望通りではなかった

b 具体的な企業（あるいは官公庁等）はいかがでしたか。

1. 希望通りだった
2. おおむね希望通りだった
3. あまり希望通りではなかった
4. まったく希望通りではなかった

最後に、本学部または本研究科に対する総合的な意見をうかがいます。

問 16 総合的に判断して、本学部または本研究科は満足できるものでしたか。

1. 強くそう思う
2. そう思う
3. どちらともいえない
4. そう思わない
5. 強くそう思わない

ご協力ありがとうございました。以下、ご意見・ご感想がございましたら、ご自由にお書きください。